

専門部会A：安全・安心・すこやか部会 審議テーマ案一覧（委員提案要旨）

審議テーマ(案)	委員提案要旨	委員	団体名等	
児童の登下校時の安全確保	区内児童の登下校時の安全確保 不審者への対応、通学路での違法駐車、駐輪など歩行障害の解消、通学路の交通安全など	大久保 芳城	幸区PTA協議会	
	地域防災活動の推進	地域防災活動(震災)の推進について 災害発生直後における自助、共助活動が素早く行える自主防災活動組織の活性化を図る。	末 兼 卓	公募委員
		防災防犯 大震災への備え、頻繁に起こる都市犯罪へ防止	手塚 善雄	幸区文化協会
		防災対策 阪神淡路大震災や新潟地震の教訓を活かして大震災への備え対応を行う	青 山 一	幸区自主防災連絡協議会
	災害時に一人も見逃さない運動の推進 各地域において災害時の要援護者（一人暮らし・寝たきり高齢者など）の支援体制づくりを行う。	萩原 保夫	幸区民生委員児童委員協議会	
暮らしやすい住環境づくり	住環境問題 住みやすい住環境をつくるのが最重要課題。再開発が進むにつれビルによる日照・風害などの問題が発生している。	手塚 善雄	幸区文化協会	
	総合的な自転車対策(交通安全)の推進	自転車通行区分の設置 自転車事故が増加しているが、オランダのように歩行者・自転車・自動車の区分通行を行えば事故が減る。	安岡 信一	川崎市幸区交通安全対策協議会
健康で生きがいを持てる地域づくり	少子高齢化対策 出生率が低下して子どもが少なくなっている。高齢者、孤独老人などに様々な事故が発生しており、近隣での見守りネットワークが必要。	手塚 善雄	幸区文化協会	
	高齢者は今～高齢者のいきがいと健康づくり～ 老人クラブによる活動成果を地域へ還元、家族・高齢者自身が生き甲斐を見つけることが重要。介護予防（健康寿命をのばすこと）においても最良である	網川 幸子	幸区老人クラブ連合会	
	市民健康づくり(介護予防など) 介護予防、医療制度改革の周知不足など高齢者は不安、重要性を市民に訴え健康づくりを進める。	小林 豊	川崎市幸区社会福祉協議会	
	医療関係機関の連携による地域での健康づくり 医師、歯科医師、薬剤師と一緒に医療・健康アドバイスするような取り組みを行う。	荒井 康男	幸区医師会	

専門部会A

専門部会B：子育て・環境・魅力づくり部会 審議テーマ案一覧（委員提案要旨）

審議テーマ(案)	委員提案要旨	委員	団体名等
安心して子育てできる環境づくり	子育てしやすいまちづくり 商店街の歩道などベビーカーでの歩行がしにくい親子で安心して楽しめる場の確保（公園整備など）	酒井 道子	公募委員
	読み聞かせ運動の推進 図書館で行われている読み聞かせ活動の拡大。読み聞かせ団体（4団体）の横のつながりや活動の周知。	成田 信子	公募委員
ごみ減量・リサイクルの推進	ごみ減量化・リサイクルの推進 資源集団回収の取組みをさらに地域でPRして取組みの拡充を行う	小島 春男	幸区町内会連合会
緑化推進	緑化推進（花と緑のエキスパート出前講座） 花と緑を推進して未来に渡り環境を守る。区全体で緑化意識の向上。花と緑の出前講座を通して小・中・高の生徒達と緑化を推進する。 区役所周辺緑化と壁面緑化（つる植物）	根本 健	公募委員
魅力づくりと市民活動の推進	音楽によるまちづくりの推進・出張コンサート 区全体に生演奏（夢こんさあと）の素晴らしさを知ってもらう、また子育て支援の一環として親子へやすらぎのひとつを提供する	松世 三重子	夢コンサート実行委員会
	市民活動・市民利用施設のネットワーク化 地域主体のまちづくりを進めるため、市民が活動しやすい環境づくりを行う	菅野 勝之	幸区まちづくり推進委員会
	地域の自然と歴史・文化の保全と、それら地域資源と人的資源のネットワークの形成 日吉地区をはじめ幸区には多くの歴史的財産となる史跡や自然、そこで市民活動があるが、それらはまだ個々別々の動きであり、連携して地域資源を活かすとともに保全・継承することが必要。	庄司 佳子	さいわいリバーウォッチング実行委員会
	シニア人材とITの活用による団地活性化 高齢化団地活性化のモデルとしてシニアの能力を活用して河原町団地の活性化を図る。	今井 淑子	さいわい市民活動懇談会

専門部会B

○その他

南武線立体化 十数年来の取組み、今までも努力されてきたが、改めて一致した地域の要望が必要	葉山 直次	幸区保護司会
南武線高架化	安岡 信一	川崎市幸区交通安全対策協議会

専門部会A：安全・安心・すこやか部会

審議テーマ案一覧（委員提案要旨）

審議テーマ(案)	委員提案要旨	検討の方向など	委員	団体名等
児童の登下校時の安全確保	区内児童の登下校時の安全確保 不審者への対応、通学路での違法駐車、駐輪など歩行障害の解消、通学路の交通安全など	・地域での見守りの目を拡充する。 ・地域、区民全体での情報共有により町全体で、子供達の安全な通学への取り組みを活性化する ・現状の取り組みの改善として、区内通学路における危険箇所の把握とその周知を行う。 ・新たな手法として、上記を踏まえて、各団体に情報提供し、パトロール時重点地点として認識いただく。	大久保 芳城	幸区PTA協議会
地域防災活動の推進	地域防災活動(震災)の推進について 災害発生直後における自助、共助活動が素早く行える自主防災活動組織の活性化を図る。	・震度に応じた居住地区別の被害想定周知。 ・巨大地震発災後(6時間～48時間)は災害に自助・共助でしか対処できないことを住民に理解してもらう。 ・巨大地震時(震度6以上)の避難所を応急看護、連絡所とする。応急看護、連絡所の充実(迅速な立ち上げ) ・災害弱者(人的被害者)の救急看護・住民の連絡場所・物資配布所としその要員(医療関係者、消防、役所、警察)を配置し地区自主防災組織と協働で運営を計る。	末 兼 卓	公募委員
	防災防犯 大震災への備え、頻りに起こる都市犯罪へ防止	・災害の発生した際に、頼れるのは隣近所が一番大切であり、高齢者、障害者などには、近隣者が声を掛けてあげ、助けてあげることが急務である ・現状の取り組みの改善として、町内会で一層助け合う組織を強くして地域の中で互いに声を掛け合うようにすること ・新たな手法として、町会で責任者を決めて防災防犯への協力体制を作る	手塚 善雄	幸区文化協会
	防災対策 阪神淡路大震災や新潟地震の教訓を活かして大震災への備え対応を行う。	・阪神・淡路大震災新潟地震の教訓をいかに実行するか、直下型地震に備えて行政との取組をいかに進めるべきか検討が必要 ・行政が動けない災害発生直後の初動対応、自主防災隊の活動範囲等を具体的に検討して、周知していくことが必要	青 山 一	幸区自主防災連絡協議会
	災害時に一人も見逃さない運動の推進 各地域において災害時の要援護者(一人暮らし・寝たきり高齢者など)の支援体制づくりを行う。	・災害時の要援護者(一人暮らし・寝たきり高齢者など)の支援体制づくりを行うため、要援護者の把握を行う。 ・行政、社協、自主防災組織などとの連携を進める。	萩原 保夫	幸区民生委員児童委員協議会
暮らしやすい住環境づくり	住環境問題 住みやすい住環境をつくるのが最重要課題。再開発が進むにつれビルによる日照・風害などの問題が発生している。	・まちづくりマスタープラン推進組織の設立により、住民によるルール・条例づくりを進める	手塚 善雄	幸区文化協会
総合的な自転車対策(交通安全)の推進	自転車通行区分の設置 自転車事故が増加しているが、オランダのように歩行者・自転車・自動車の区分通行を行えば事故が減る。	・現在の細い道路を三つに分けることはむづかしいことであるが、それぞれ分けて通行すれば事故も減る ・自転車の交通事故が増えており、自転車に乗る人のマナーも悪い。自転車は車であるという理解が必要 ・現在、交通のシステムは車と歩行者のみといっても過言ではない。自転車という交通手段も交通のシステムの中で取り上げていかなければならない。	安岡 信一	川崎市幸区交通安全対策協議会
健康で生きがいを持てる地域づくり	少子高齢化対策 出生率が低下して子どもが少なくなっている。高齢者、孤独老人などに様々な事故が発生しており、近隣での見守りネットワークが必要	・町内の老人を見守る。隣組で病弱な老人などに声を掛けてあげられるようにする見守りチームをつくる ・結婚したくてもチャンスがなく独身のままで居る人が多い、若者の出会いの場と若者の結婚を勧めることが大事である	手塚 善雄	幸区文化協会
	高齢者は今～高齢者のいきがいと健康づくり～	・老人クラブによる活動成果を地域へ還元していく。老人クラブでの生き甲斐づくりの喜びは大きな事業へのはげみとなり、さらなる活性化がうまれる。 ・本人の幸せ、家族・高齢者自身が生き甲斐を見つけることが重要。 ・上記の取組みは介護予防(健康寿命をのばすこと)においても最良である	網川 幸子	幸区老人クラブ連合会
	市民健康づくり(介護予防など) 介護予防、医療制度改革の周知不足など高齢者は不安。不安解消と健康づくりを進める。	・介護予防、医療制度改革の周知不足など高齢者は不安。不安を解消し、健康づくりの重要性を示して取組みを進めることが必要。	小 林 豊	川崎市幸区社会福祉協議会
	医療関係機関の連携による地域での健康づくり	・医師、歯科医師、薬剤師と一緒に医療・健康アドバイスするような取組み。「やさしく解説 病気との付き合い方 フォーラム」の開催	荒井 康男	幸区医師会

専門部会B：子育て・環境・魅力づくり部会

審議テーマ案一覧（委員提案要旨）

審議テーマ(案)	委員提案要旨	検討の方向など	委員	団体名等
安心して子育てできる環境づくり	子育てしやすいまちづくり 商店街の歩道などベビーカーでの歩行がしにくい 親子で安心して楽しめる場の確保（公園整備など）	・通行上の不便性や危険性を認識するとともに、整備の必要な公園を見直す ・歩道上の使用について規定を設けるなど、皆が安心して通行できるようにする ・親子で安心して楽しめる場の確保として、公園を整備する上で様々な世代の区民が集い、新たな交流の場と なっていく 商店街へも協力を呼び掛け、よりよいまちづくりに参加してもらう	酒井 道子	公募委員
	読み聞かせ運動の推進 図書館で行われている読み聞かせ活動の拡大。 読み聞かせ団体（4団体）の横のつながりや活動の周知	・読み聞かせ団体の把握と活動の紹介（広報） ・散在する団体からの現状などの報告会の開催などにより、横のつながりをつくる。 ・活動内容、開催日時等を広報紙に掲載して地域の方の参加を募る。 ・地域全体での活動支援、町内会館・子文など場所の確保。	成田 信子	公募委員
ごみ減量・リサイクルの推進	ごみ減量化・リサイクルの推進	・資源集団回収はここ数年伸び悩んでいる。ごみ減量化・リサイクルを進めるため、資源集団回収の取組みをさらに地域でPRして取組みの拡充を行う。また、日頃からごみを減らす工夫を行う。	小島 春男	幸区町内会連合会
緑化推進	緑化推進（花と緑のエキスパート出前講座） 花と緑を推進して未来に渡り環境を守る。区全体で緑化意識の向上。花と緑の出前講座を通して小・中・高の生徒達と緑化を推進する。 区役所周辺緑化と壁面緑化（つる植物）	・緑化推進の現状の取組みの改善として、花と緑のさいわい事業の拡充（花と緑のエキスパート育成、青少年の花と緑のエキスパートの強化） ・緑化の意識を深め、区全体の緑化と住み良い環境の街づくりのため、幼児から高校生までに緑に関する学習をして将来的に人を育てる（体験学習も含む） ・区役所周辺を重点的に緑化推進する。 ・都市化している生活環境を改善するためヒートアイランド（温暖化）緩和として有効である壁面緑化を進める。	根本 健	公募委員
魅力づくりと市民活動の推進	音楽によるまちづくりの推進・出張コンサート 区全体に生演奏（夢こんさあと）の素晴らしさを知ってもらう、また子育て支援の一環として親子へやすらぎのひとときを提供する。	・現状の取組みの改善として、区役所だけでなく、保育園・幼稚園、福祉センター、老人ホーム、企業などで実施。（課題は、100人位入れるホールスペースがあるか・・・。） ・新たな手法としては、コンサートだけではなく、子育て、医療など関係者の講演を取り入れてみても良いと思う。	松世 三重子	夢コンサート実行委員会
	市民活動・市民利用施設のネットワーク化 地域主体のまちづくりを進めるため、市民が活動しやすい環境づくりを行う。	・区内の市民活動団体紹介や施設の市民開放などの現況をまとめた市民活動ガイドブックを整備して、市民活動の横のつながりと市民利用施設の有効活用を進める。	菅野 勝之	幸区まちづくり推進委員会
	地域の自然と歴史・文化の保全と、それら地域資源と人的資源のネットワークの形成 日吉地区をはじめ幸区には多くの歴史的財産となる史跡や自然、そこで市民活動があるが、それらはまだ個々別々の動きであり、連携して地域資源を活かすとともに保全・継承することが必要	・現状の取組みの改善として、現在の市民活動団体のそれぞれの取組みが相互に見える関係にする ・新たな手法としては、街の資源となる組織や活動団体の連携組織を構築し、ネットワークするなかで、課題を解決していく ・そのほか地域教育会議・地元商店街・子育てグループなど多角的な分野との連携により街資源の共有化を行う。	庄司 佳子	さいわいリバーウォッチング実行委員会
	シニア人材とITの活用による団地活性化	・高齢化団地活性化のモデルとしてシニア（概ね50歳以上）の能力を活用して河原町団地の活性化を図る。 ・新たな手法として、シニアITリーダーを育成し、シニアITリーダーが団地内にある「幸市民協働プラザ」でインターネット講習を実施したり、団地内訪問サポートなどを実施する。 ・「さいわいコミュニティサイト」に電子掲示板を設置し、団地内の交流の促進を図る。	今井 淑子	さいわい市民活動懇談会

○その他

南武線立体化 十数年来の取組み、今までも努力されてきたが、改めて一致した地域の要望が必要	区内の全町会を含めて、一致した取組みが必要 特に日吉地区の人々には、長年の念願事項	葉山 直次	幸区保護司会
南武線高架化	行政と区民が一体に成って世論の構成が必要で、区民全世帯の要望という事で、全世帯に請願の為署名を集める。 実施する事によって、駄目だとあきらめている人、関心を持たない人等に関心をもって貰う。	安岡 信一	川崎市幸区交通安全対策協議会